

ゴミうんち 循環する文明のための未来思考

竹村眞一 著／佐藤 卓 アートディレクション

自然界にはゴミもうんちも存在しない。
すべては有用な資源として循環してゆく――

「忌避」や「忘却」の対象として「ゴミ」や「うんち」という概念が存在すること自体に、社会デザインの失敗があるのではないかと。廃棄・排出されたものを循環させる自然の仕組み、文化、技術から「人類の社会OS」を更新する方法を探る。「ゴミうんち展」(21_21 DESIGN SIGHT、2024年9月～25年2月)のコンセプトブック。

目次

Part 1：地球のPoopLoop：小さなエッセンシャルワーカーたちが大きな地球を支えている／Part 2：この美しい循環PoopLoopはどうやって出来た？／Part 3：ゴミうんちから見た日本の歴史と文化／Part 4：ゴミうんちと人類／Part 5：地球の循環OSのアップデート

著者略歴

竹村眞一 (たけむら・しんいち)
京都芸術大学教授、NPO法人ELP代表。「触れる地球」SPHERE開発者。人類学的な視点から地球環境に関する研究・啓発活動を行う。

佐藤卓 (さとう・たく)
グラフィックデザイナー。21_21 DESIGN SIGHT ディレクター・館長。「ロッテ キシリトールガム」「明治おいしい牛乳」のパッケージデザインをはじめ、ポスターなどのグラフィック、商品や施設のブランディング、企業のCIを中心に活動。



仕様

A5判、並製、192頁
定価：本体2,300円 (税別)
ISBN978-4-7661-3958-7

ご注文・お問い合わせ

株式会社グラフィック社
〒102-0073
東京都千代田区九段北1-14-17
Tel 03-3263-4318
Fax 03-3263-5297

書店印	書名 (新刊)	注文数
	ゴミうんち 循環する文明のための未来思考 竹村眞一 著／佐藤 卓 アートディレクション	
地区	書店コード	
	定価：本体2,300円 (税別) ISBN978-4-7661-3958-7	冊